

コープ災害ボランティア

第34号 ネットワークニュース

2009年 月発行
 東京都生活協同組合連合会
 コープ災害ボランティアネットワーク幹事会
 03-3383-7800

2009年
 9月26日

第3講～帰宅困難者徒歩訓練～

仕事中や外出先で地震に遭遇・・・公共交通機関がストップ！歩いて家に帰らなければならなくなった時を想像し、災害後の街をイメージしながら、街の危険な場所やコース内に設置されるエイドステーション(帰宅者支援ステーション)の役割など考えました。

東京コース (19.8km)

日比谷公園 (千代田区) → 飯田橋 → 高田馬場 → 江古田 → 光が丘公園 (練馬区)

当日は、33名の受講生が徒歩帰宅訓練に参加しました。また、訓練コースに設けられたエイドステーションでは、講座卒業生が受講生をはじめ沢山の参加者支援をしました。

江原公園エイドステーション

ホッとひと息・・・
 江原公園で昼食タイム！

トーハンエイドステーション

受講生の感想

- ☆災害時に徒歩で帰宅しなければならぬこと、水分補給の重要性、励まし合う仲間の存在等、訓練を通じて学ぶ事ができました。
- ☆エイドステーションや沿道のスタッフの声かけがとても励みになりました。
- ☆訓練は、全員が同じゴールを目指していたから良いが、実際は自宅までのルートを各自で把握しておく必要があることに気づいた。
- ☆ゴールまで5時間、災害時は天候、道路状況の悪化もあるのでより多くの時間がかかる事も予想しなければいけない。
- ☆エイドステーション運営に参加して、組織の連携、行政からの支援の重要性、人と人の協力が大切だと感じました。